

博士課程教育リーディングプログラム 事後評価結果

機 関 名	名古屋大学	整理番号	N01
プログラム名称	フロンティア宇宙開拓リーダー養成プログラム		
プログラム責任者	前島 正義	プログラムコーディネーター	田島 宏康

博士課程教育リーディングプログラム委員会における評価

[総括評価]

計画どおりの取組が行われ、成果が得られていることから、本事業の目的を達成できたと評価できる。

[コメント]

リーダーを養成するための学位プログラム、体制等の構築については、指摘された課題の改善に真摯に取り組み、カリキュラムの大幅な改善を図り、ChubuSat 実践プログラム、企業インターンシップ、海外インターンシップなど、それぞれの特徴を活かしてリーダーシップ能力を備えた人材の育成を行っており、グローバルリーダー養成に向けて体系的な教育指導体制が確立されたことは評価できる。分野の壁を乗り越えてプログラムを推進する体制も整い、学生は理学と工学を横断する広い知識と経験を得ることができるようになり、当初目標の理工連携が実現した。

修了者の成長とキャリアパスの構築については、企業インターンシップを対象学生の 8 割程度が経験し、自主性・積極性が芽生えるなど、従来のカリキュラムでは実現できない効果が現われていること、修了者の 4 割程度が大学・公的研究機関以外に就職するなど、修了者の就職先の多様化も進んだことは評価できる。一方で、約半数を占める留学生には企業インターンシップの機会がほとんどないため、それに代わる効果的な実践教育を用意するなど更なる改善を期待したい。

事業の定着・発展については、大学に「博士課程教育推進機構」を新たに設置し、これを学内 6 つの博士課程教育リーディングプログラムにおけるリーダーシップ教育に関する共通的なカリキュラムを統合して運営する組織とし、また、ChubuSat 実践プログラムを宇宙地球環境研究所飛翔体推進センターに設置した宇宙開発利用推進室に移し宇宙利用人材の育成カリキュラムを学部学生にまで広げる計画であり、大学全体の将来像の中できちんと位置付けて支援期間終了後の準備が進められていることは評価できる。学生への経済的支援については授業料免除、RA 雇用、海外インターンシップでの費用負担、企業研修費用の企業による負担等が計画されているが、今後とも努力されることを期待する。計画されているパデュー大学との「Study abroad」プログラムの拡充も、国際化や多様な人的ネットワークの構築に効果があると期待される。